

# TARO TEAM ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

## 2021 Round.6 SUPERBIKE RACE in OKAYAMA



藤本電機工業



**TARO SEKIGUCHI**

# SANMEI Team TARO PLUSONE

## TARO SEKIGUCHI RACE REPORT #9

2021 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第6戦 スーパーバイクレース in OKAYAMA

岡山県・岡山国際サーキット (1周=3.747km)

クラス: JSB1000 マシン: BMW S1000RR タイヤ: BRIDGESTONE

2021年9月4日(土) 天候: 曇り コース: ドライ

予選: 10番手 (タイム: 1分34秒204)

2021年9月5日(日) 天候: 晴れ・曇り コース: ドライ

決勝: 10位

観客動員数: 4,700人 (2日間合計)

# TARO



# ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

## 2021 Round.6 SUPERBIKE RACE in OKAYAMA

# TARO

## TARO スタート失敗から追い上げて 10位フィニッシュ

## TARO SEKIGUCHI



全日本ロードレース選手権は、9月4日(土)・5日(日)にシリーズ第6戦を岡山県・岡山国際サーキットで迎えた。7月に鈴鹿ラウンドが移動したため、今シーズンは、今回の岡山ラウンドを含め、9月18日(土)・19日(日)の第7戦オートポリスで早くも最終戦となるスケジュールとなっており、2021年シーズンも大詰め。



前週には、事前テストがあり、7月の鈴鹿での負傷からの復帰となる関口は、身体の調子を見ながらペースを上げて行った。テスト2日目には、ニュータイヤを履いてロングランもこなし、いい手応えを感じていた。

レースウィーク初日は、雨に見舞われウェットコンディションとなった。午前中は特に雨量が多く、翌日は曇りとなる天気予報だったこともあり、関口は1本目をキャンセル。2本目のみに出走したが、ウェットコンディションでもフィーリングはよく、Tカーを使い比較することもでき、1セッションのみでも充実した内容となっていた。

土曜日は、予報通り天気は回復。JSB1000クラスの予選はドライコンディションで行われた。今回はノックアウト方式となっており、Q1では、まずユーズドタイヤで出て行き、マシンセットを進め、セッション終盤にニュータイヤを履いてアタック！ 単独走行で1分33秒185をマークし9番手。トップ10に入りQ2に進出した。Q2はユーズドタイヤで事前テストからの流れから、決勝に向けたセットを模索し、それが、いい方向に進んでいた。



レースの行われた日曜日は、朝から青空が広がり絶好のコンディション。JSB1000クラスがスタートするころには、曇り空となっていたが、過ごしやすい気温となっていた。中低速コーナーが多く、ブレーキングもハードな岡山国際サーキットを24周で争われた決勝。関口は、スタートで出遅れてしまい14番手までポジションを落としてしまう。オープニングラップに津田選手をかわし13番手に上がると、7周目のアウトドカーブへのブレーキングで児玉選手を、9周目のダブルヘアピン2個目では、中富選手をかわし11番手に上がる。さらに前を行くライダーを追って行き、レース終盤は、岩田選手、柳川選手と三つ巴の9位争いを繰り広げる。何度か岩田選手と順位を入れかえ前に出ると、最終ラップは、柳川選手の背後にビタリとつけチャンスを伺う。最後まであきらめずにアクセルを開けて行くが惜しくも届かず10位でチェックラップを受けた。



次戦は、いよいよ最終戦オートポリス。トップエントラントをかけたチームランキングもし烈となって来ているが、Team TARO一丸となって2021年最後の2レースをいい形で終わられるようにベストを尽くす覚悟だ。

### ■関口太郎コメント

「いつも応援ありがとうございます。今回は、スタートで出遅れたことが悔やまれますが、それ以外は、追上げることができましたし、まずまずのレース内容だったと思います。単独走行だったら1分33秒台で走ることもできていたし、調子は上々でした。2021年シーズンは、早くも次回オートポリスが最終戦。2レース制なので、チームランキング10位以内で終わることができるように全力で頑張ります！」



このリリースへのお問い合わせは、  
下記メールアドレスまでお願いいたします。  
E-mail : tarosekiguchi@gmail.com